



フィッシングアドバイザー：
シャウト向林亮也

大阪湾で近海ジギング！手軽に大物とファイト！ / 四季の釣り 2015年9月4日 OA



伊丹章のワンポイントアドバイス

フィッシングアドバイザーはシャウトの向林亮也さん。大阪湾にはフィッシュイーターのベイトとなるイワシでいっぱい。それを狙ってメジロ・サゴシ・サバ・タチウオ・タイなどの活性が上がっています。ライトなタックルでボトム付近をジグでアピール。すると朝一番から率先良くメジロがヒット。その後も次々とロッドが曲がりメジロをゲット。潮の速い明石海峡エリアで、いかにジグで青物にアピールするのが釣果アップの秘訣。メジロの他にもサバがヒットし、船上が賑やかに。最後は明石海峡で最高級のターゲットもゲット！！ 番組では必要なタックル、釣り方なども詳しく紹介しています。

タックル

■ランス



■ライテン



■ランス

槍=Lanceのごとくまっすぐ突き進むアクションが特徴のロングジグ。キレのある横方向へのロングダートではなく、あえて縦方向への突き上げと失速を狙った。これは遊泳力の低いイカナゴ(オオナゴ)やタチウオの幼魚が逃げ惑うアクションと一致する。失速後はステイゆずりの「喰う間」を演出。時にはロールアクションを伴わない静止しているかのようなフォール姿勢でターゲットをバイトさせる。暴れすぎない上げと下げの挙動とその後に魅せる失速はスローピッチでもハイピッチでもあらゆるターゲットを魅了。

●80g、100g、130g、160g、200g、250g、300g

■ライテン

ローギアリアルでのスロースタイルジャークにおけるアクションレスポンスにとことんこだわったジグ。左右対称、低重心にもかかわらずスロージャークでのダート、水平姿勢、ヒラウチとリアクションを誘発する動きを見せる。青物だけでなく真鯛、アジ、サバ、根魚・・・スモールジグでこそ得られる結果がこのジグにある。ハイギアリアルによるスピードのある強いジャーク、ターゲットを狂わせるようなダートアクションとは対照的に、一見ジグを見切られてしまうようなスロースタイルのジャークこそ、パワージギングでは味わえない喰わせのテクニックが存在。

●50g、70g、90g、120g

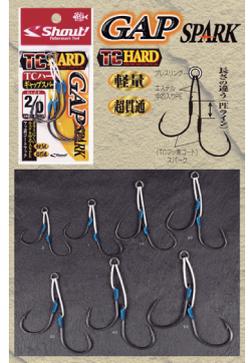
■シヴァ

スローピッチジャークをシヨアから楽しむために設計されたセンターバランスデルタフォルム。エッジを効かせた形状はフォール時に激しくウォブリングしながらフォールする“パタパタアクション”にキレを与え、速くからでもターゲットの側面に響くほどの強フォール波動を引き起こす。もちろんフォールのみならず、シヨアジギングでの基本アクションであるジャカジャカ巻・ジャーク時にもイレギュラーにダートし魚を狂わせる。ジャーク&フォールを駆使し、青物のみならず、根魚・シーバスなど多彩なターゲットに口を使わせる楽しみを味わっていただきたい。

●30g、40g、60g、80g、100g



■TC ハードギャップスパーク



■TC ハードシングルスパーク

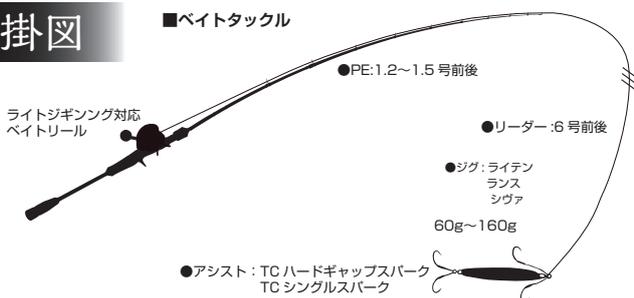


カラミにくいエステル中芯入り PE フッ素コート加工を施したスパークフック仕様のシングルアシスト。エステル中芯入りPEなのでジグやリーダーへのカラミが激減。様々なターゲット、ジグサイズに対応するフックサイズをラインナップ。

●2、1、1/0、2/0、3/0、4/0、5/0

仕掛図

■ベイトタックル



■スピニングタックル

